

静岡県におけるデータ連携基盤共同利用に関するビジョン

1 概要

静岡県においては、浜松市、焼津市、三島市及び小山町において、2024年度までにデータ連携基盤を構築済みであるところ、以下の状況を勘案し、共同利用の推進に向けた検討・精査を行っていく

2 データ連携基盤の現況

静岡県内では、浜松市、焼津市、三島市及び小山町がデータ連携基盤を構築しており、その概要は、【別紙】のとおりである
主に、防災及び観光等の分野で、防災情報や飲食店情報等のデータを扱い、地域の情報の可視化や飲食店等で利用可能なポイントの提供等に活用している

3 共同利用の推進に向けた方向性

今後、新たに県内市町によるデータ連携基盤の利用用途が生じた場合は、県が関係市町間の調整を図るものとする
なお、調整に当たっては、以下の選択肢について、費用対効果や住民サービスとしての提供のあり方等の観点から比較考量した上で方向性を定めていくものとする

- (1) 県内において2024年度までに構築済みのデータ連携基盤（別紙）を活用して共同利用を推進
- (2) 県をまたぐ広域又は全国レベルでのデータ連携基盤の共同利用を推進
- (3) 新たにデータ連携基盤を構築して共同利用を推進

4 考慮事項

対応の方向性を定める上では、データ連携基盤の運営のあり方、県及び市町の役割分担、費用負担のあり方といった点についても考慮し、関係機関同士で検討を重ねるものとする

5 当面の対応スケジュール（想定）

2025年度以降も、引き続きデジタル技術を活用した住民サービスのあり方やデータ連携基盤の効果的な活用方法等について検討していく

6 その他

本ビジョンについては、今後の状況変化を踏まえて柔軟に内容を見直すことができるものとする

静岡県内におけるデータ連携基盤の構築状況

自治体名	構築年度	主なサービス提供分野	提供サービス例	種 別	
				非パーソナル データ連携基盤	パーソナル データ連携基盤
浜松市	2022(R4)年度	地域共助促進 ほか	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアマッチング ・助け合いポイントアプリ ・A Iによる笑顔検知 ほか 	○	
焼津市	2022(R4)年度	防災 ほか	<ul style="list-style-type: none"> ・データマップ ・データ分析サイト ・避難情報プッシュ配信 ほか 	○	
三島市	2023(R5)年度	観光	<ul style="list-style-type: none"> ・伊豆ファン倶楽部パスポート ・地方創生トークン発行サービス 		○
小山町	2024(R6)年度	健康	<ul style="list-style-type: none"> ・健康インセンティブ ・地域通貨 		○